

整備新幹線の建設促進についての緊急アピール

昨年末、政府与党は整備新幹線に係る「新しい基本スキーム」を策定し予算案を決定されました。

私たちは、地域の人々とともに喜びを分かち合い、現在、国会において審議されている予算及び関係法案の行方に注目しているところであります。

是非とも、整備新幹線に対する前向きで幅広い論議を踏まえ、速やかに諸手続きを終え一日も早く着工されるよう、整備新幹線関係18都道府県期成同盟会員一同の声として、ここにアピールするものであります。

整備新幹線は、昭和48年に整備計画が決定されて以来、その時々の時代の流れの中で、建設促進と凍結が繰り返され、私たちはその都度、一喜一憂してまいりました。

私たちは、新幹線ネットワークは国土の骨格を形成し、大都市圏と地方都市圏がともに均衡ある発展をとげ、生き生きとした日本を築くためにも、必要不可欠な国家的プロジェクトだと思っています。広域的経済圏を形成したくても、近い割りには交流ができない、圏域が拡がらないというのが未着工区間地域の共通の悩みでもあり、「地方の時代」を築いていくためにも整備新幹線の建設促進は私たちの切実な願いであります。

新幹線建設によって、これまで大きな有効需要が創出され、その経済波及効果は多方面に及び、計り知れないものがあります。しかし、残念なことに整備新幹線には、平成9年度予算においても、年間公共事業費の僅か0.3%しか投入されていないのが実態であります。また、旧国鉄時代から引き続く長期債務の処理が問題にされておりますが、これから的新幹線は公共事業方式で建設されることとなっており、しかも、各区間相応の採算性と収支改善効果が見込まれると考えられることから、この問題と新幹線建設は別の次元の問題だと思っています。

新幹線は、高速性・大量輸送・安全性・定時性等において、他の交通機関より優れています。また、近年、二酸化炭素等による地球温暖化問題を中心に地域環境問題への関心が高まっている中、地球にやさしく、省エネに優れている高速鉄道は、21世紀の交通機関としてその役割が一層高まるものとして、世界的にも見直されています。

私たちは、かけがえのない地球の、そして、日本の未来のため、国民の皆様のご理解のもと、たくさんの夢が託されている整備新幹線の建設促進を心から願い、ここに強く要望するものであります。

平成9年2月28日

整備新幹線関係18都道府県期成同盟会

北海道知事	堀	達也
青森県知事	木村	守男
岩手県知事	増田	寛也
東京都知事	青島	幸男
埼玉県知事	土屋	義彦
群馬県知事	小寺	弘之
長野県知事	吉村	午良
新潟県知事	平山	征夫
富山県知事	中沖	豊
石川県知事	谷本	正憲
福井県知事	栗田	幸雄
京都府知事	荒巻	禎一
大阪府知事	山田	勇
福岡県知事	麻生	渡
佐賀県知事	井本	勇
長崎県知事	高田	勇
熊本県知事	福島	譲二
鹿児島県知事	須賀	龍郎